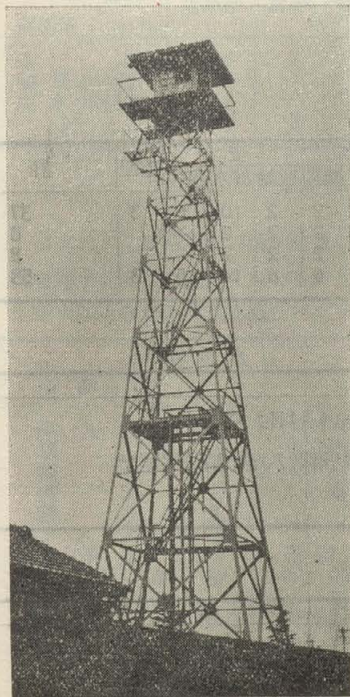


第十四 消 防



(望 楼)

得て消防職員を任命し消防事務を掌らしている。

当市は消防長と消防署長は兼務している

1、沿 革

八尾市の水火消防に関する業務は消防署開設以前は旧町村に於て消防組を組織して郷土の護りについていたが勅令により警防団に改組されて戦時中益々郷土防衛の重責を担つた然卒ら東大阪の消防行政の完璧を期するため昭和20年 6月29日大阪府告示第 414号を以て特設消防署区域となり布施消防署八尾独立消防中隊として官設消防署が設置された。

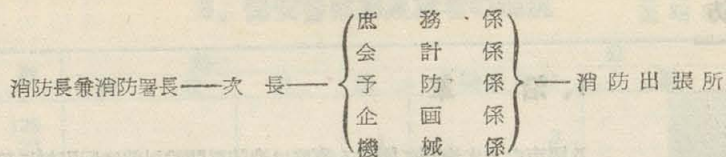
昭和21年 3月20日大阪府告示第 131号を以て八尾独立消防中隊は大阪府八尾消防署として独立消防署に昇格をみ近鉄八尾駅前が開庁された。

消防は従来保安警察の一部門として単に防禦消防のみ担当していたのであるが昭和22年12月法律第 226号消防組織法により消防制度は劃期的な改革が行われこゝに完全に警察部門より独立し独自の立場に於て防災行政を担当し同時に消防行政は地方委譲になり当該市町村がその区域に於ける消防を十分に果すべき責任を有することとなつたので旧八尾消防署の管轄区域であつた八尾外九ヶ町村は町村当局の協議の結果地方自治法による一部事務組合となり八尾消防署として昭和23年 2月 1日自治体消防として新発足したのである。その後八尾市の誕生により八尾市外五ヶ町村消防組合八尾消防署と改称されたが消防組合の各自治体に於ては諸種の事情により昭和23年11月 組合 消防は 解散することにしたので同時に八尾市に於ては茲に 独立消防署を設置 することになり 昭和23年12月 1日八尾市一円を管轄区域として八尾市消防署は開庁された。(建坪108,5坪 延坪179,75坪 望楼28米 (92,4尺))

2、組 織

八尾市の消防は條例に依つて市長が之を管理しており市長より任命を受けた消防長が管内の消防行政を消防組織法及び消防法によつて執行しているのである。消防長は市長の承認を

消防本部及消防署の組織



3、職 員 の 配 置

職名及係別 署所名	消防司令長	消防司令 次 長	消防司令補 予防機械	消 防 士 長		消 防 士							書記	計				
	消防長兼消防署長			予防	消防	会計	庶務	消防	会計	庶務	機械	機関			取締	放水	學校	
本 署 龍 華 出 張 所 山 本 出 計	1	1	1	1	1	2	1	1	4	1	2	1	2	2	10	5	3	37
	1	1	1	1	1	2	1	1	4	1	2	1	2	2	14	5	3	88
						2							2	2				8
						2							2	2				8
						4	1	1	4	1	2	1	6	6	14	5	3	53

4、累 年 火 災 統 計

年 度	出火件数	損 害 額	焼失坪数	死傷者	備 考
昭和21年 4月 以降	11件	5,839,291	276坪		八尾消防署開設(4月1日)以降
〃 22 年	20	7,462,890	677	6	
〃 23 年	24	1,772,853	125		12月 1日組合消防解散八尾市消防署開庁
〃 24 年	34	8,291,490	368	1	
〃 25 年	20	17,659,820	437	12	9 月末現在

5、消 防 水 利 一 覽

	公設消火栓	私設消火栓	消火用井戸	貯 水 槽	溜 池	河 川
本 署	120	14	18	5	14	2
龍 華	118	7	12	5	1	1
山 本	60	14	22	1		1
計	298	35	52	11	15	4

6、消防特別警備対象物

署所別	種別	官公庁	倉庫	金融機関	市場	興行場	賠償工	学校病院	特殊建築物	工場			アパート 寄宿舎	停車場	神教 院会	危険物 貯蔵所
										大	中	小				
本龍山 署出張所 本署出張所 計	署	16	2	5	2	3	1	11	2	59	36	54	6	4	6	46
	出張所	7			1		1	6		53	25	11	4		20	10
	出張所	1		1	1	1		2		6	4	5	5	2	8	8
計		24	2	6	4	4	2	19	2	118	65	70	15	6	34	64

7、消防自動車の現況

当署に消防自動車計 7臺が配置されているが人員の関係上実動車輛は 3臺乃至 4臺であり他は予備車として非番署員又は消防団に於て運用する様常に整備している。

中火以上の場合は東部消防ブロック消防署（布施、柏原、玉川）の應援を受けるべく相互應援協定を締結している。

項目	車番号		一号車	二号車	三号車	ウイボン車	五号車	六号車	タンク車	小型車
	購入年月日	式所力								
製造馬力	昭和 8.4	昭和 9.8	昭和 8.4	昭和 9.8	昭和 10.5	昭和 22.6	昭和 19.8	昭和 19.8	昭和 19.8	昭和 25.11
放水水量	1932年式	1934年式	1932年式	1934年式	1935年式	1940年式	2602年式	2602年式	2602年式	1950年式
タンク貯水量	フオード	フオード	フオード	フオード	フオード	クライスラー	日産自動車	日産自動車	日産自動車	新明和興業
予備車場	24馬力	24馬力	24馬力	24馬力	24馬力	25馬力	80馬力	80馬力	80馬力	24馬力
配置場所	450ガロン	450ガロン	450ガロン	450ガロン	450ガロン	450ガロン	1600立	1600立	1600立	450ガロン
	予備車本	予備車山本出張所	予備車本	予備車署	常備車署	常備車龍華出張所	予備車龍華出張所	常備車山本出張所	常備車本署	常備車本署

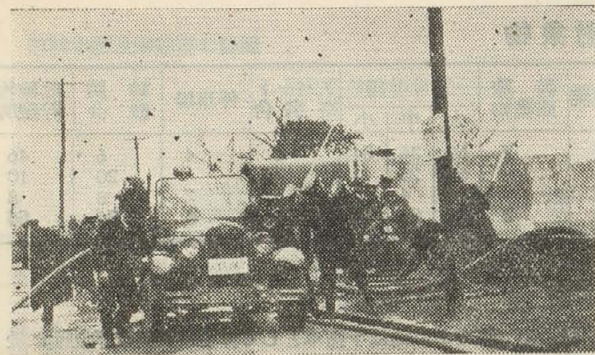
8、火 災 統 計

昭和24年度

昭和25年度 全国府下は9月末現在

	件数	罹災戸数	死傷者	損 害
全 国	13,488件	25,908戸	4,756	26,997,308,573円
大阪府下	1,249	850	72	686,646,226
入 尾 市	34	36	0	8,291,490

	件数	罹災戸数	死傷者	損 害
会 国	14,676件	15,673戸	6,272	17,199,863,215円
大阪府下	1,226	581	256	483,993,645
入 尾 市	23	51	7	1,766,320



(出初式
左右
玉撃揃い)



9、主なる火災原因

		全 国							
		昭和25年 6月末日現在							
種 別		煙 突	焚 火	弄 火	取 灰	かまど	漏 電	こたつ	油 類
件 数		1,053	857	743	680	603	583	582	396

		大阪府下							
		昭和25年10月末日現在							
種 別		使用火の不始末	油 類	煙 突	電 気	煙 草	マ ッ チ	ガ ス	燈 火
件 数		277	157	154	218	81	15	11	8

		八 尾 市									
		昭和25年11月末日現在									
種 別		電 気	煙 突	油 類	取 灰	ローソク	ガ ス	子供弄火	ボイラー 過 熱	塗料引火	其 の 他
件 数		7	3	2	2	1	1	1	1	1	4

第十五 電気・瓦斯

1、電 氣

契約 月日	定額電灯			從量電灯				大口電灯		小口電力		大口電力甲		大口電力乙	
	軒数	灯数	ラジオ	軒数	灯数	小型機器	電熱	軒数	契約	軒数	契約	軒数	契約	軒数	契約
昭和24, 12, 31	7921	13806	3740	5175	54482	263	5418	69	kw 699	666	kw 4455	28	kw 3625	3	kw 2880
昭和25, 12, 31	7657	13595	3587	5493	55345	263	5672	87	// 828	882	// 5275	29	// 3960	4	// 3550

但 小口電力は 1KWより 50KW迄 大口電力甲は50KWより500KW迄
大口電力乙は500KW以上の契約

電柱延本数 1978本 配電線路亘長 71KM

2、ガ ス 供 給

供給戸数	供給量	瓦斯本管	供給管	屋内管
3297戸	18,668立方米	32,500米	33,800米	37,700米



関西配電八尾営業所